

## データを活用し、企業として成果を出すためには明確な役割が必要

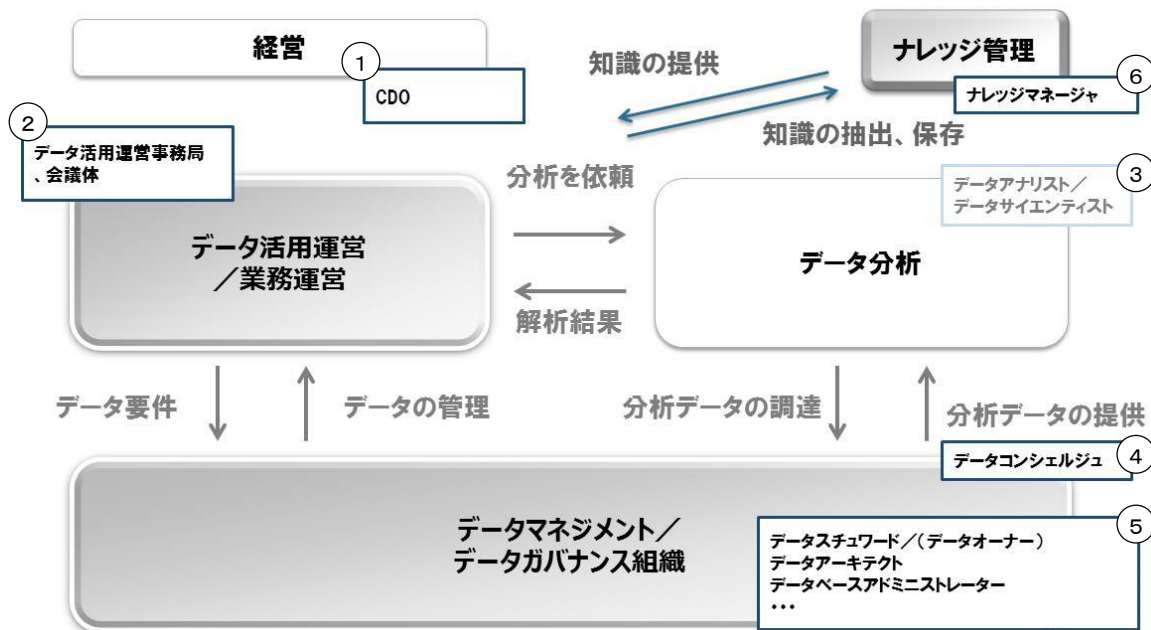
企業としてデータ活用を成熟させ、革新的な創造をしていくためには、個々や部門ごとで活動していても達成はできません。全社を意識し運用していく組織体制が必要となります。明確な役割を決めなければ、データに関する運用が曖昧になりデータ活用を継続させていくのは難しいでしょう。

## データを活用していくための役割とは

データを活用していくためには、どのような役割を設計していけばよいでしょうか。

- ① 経営の立場でデータを資産として管理する役割
- ② データを活用し業務運営していく役割
- ③ データから答えを導くために分析する役割
- ④ データ活用や分析のために必要なデータを収集する役割
- ⑤ データの品質を維持し統制していく役割
- ⑥ データから得られたナレッジを管理していく役割

などが考えられます。それぞれの関係は、下記図のような例が考えられます。企業により、求められる役割は異なるため、他社と差別化を図り、データから創造していく企業を作るにはその企業にあった最適な組織設計が求められます。



## ご支援プラン

それぞれの企業によって求められる役割は異なります。弊社の経験豊かなコンサルタントが、御社に必要でありかつ適切な役割とそれを担う組織を定義させていただきます。

<参考例>

- 手順 1：会社に求められる役割を抽象化して整理し、原理原則、基本方針（ビジョン・目的）を策定する。
- 手順 2：その組織の機能・役割の定義と運営するためのフローを作成する。
- 手順 3：人材のアサインと育成計画を策定する。

●上記以外でも様々なスタイルでご支援させていただいております。詳細は別途ご相談ください。

### 株式会社 データ総研

代表取締役社長 堀越 雅朗

1985年創立。データ設計と標準化を専門分野とするITコンサルティングファーム。

データ中心アプローチ(DOA)における先駆的企業であり、PLAN-DB®、PLAN-APL®など独自開発の設計技法や開発方法論をベースにコンサルティング事業を展開。データマネジメントの世界的教育・研究機関であるDAMA国際から、データマネジメント知識体系(DMBOK)教育機関として認定を受けている。

上場企業を中心に多数のリーディングカンパニーへの支援実績を有する。

東京都中央区日本橋小伝馬町4-11サンコービル TEL:03-5695-1651 FAX:03-5695-1656 <http://www.drinet.co.jp>